

一般社団法人日本病理学会

2024年度 病理専門医更新書類作成説明会

2024年9月26日(木)17:00-18:00

開始まで今しばらくお待ちください



【内容】

- ・書類作成に関する説明
- ・質疑応答

病理専門医資格審査委員会	中黒匡人	委員長
病理専門医資格審査委員会	粕雄一朗	副委員長



今年度から電子申請・郵送申請の選択式です。

- ✓ 選択するステップは既に終了
- ✓ 電子選択者以外は、未回答者含め全員郵送申請
- ✓ 電子申請は更新システムのアドレスをメール送付済
(書類送付なし)
- ✓ 郵送申請は書類を郵送済

更新に必要な書類・手続き

全員共通の書類・手続き

+

2015・2016 研修開始の初回更新者の追加書類

剖検 10 体のリストと診断書

全員共通の書類・手続き

機構専門医の更新基準: 必要単位 50単位

(単位該当期間: 2019年11月～2024年10月)

基本形

項目	一般的な必要単位
i) 診療実績の証明	最小5単位、最大10単位
ii) 共通講習	最小3単位、最大10単位 (このうち3単位は必修講習)
iii) 領域講習	最小20単位
iv) 学術業績・診療以外の活動実績	0～10単位
i)～iv)の合計	50単位

症例

倫理などの講習

病理の講習

参加・論文・発表

例外①：3回以上連続更新者

項 目	一般的な必要単位
i) 診療実績の証明	最小5単位、最大10単位
ii) 共通講習	最小3単位、最大10単位 (このうち3単位は必修講習)
iii) 領域講習	最小20単位
iv) 学術業績・診療以外の活動実績	0～10単位
i)～iv)の合計	50単位



学会指定の病理画像問題の受講で代替可
(10単位に相当)

代替しても残り40単位は必要!!

※ 2004年以前に専門医を取得し、途中保留になっていない方が対象

例外②: iii) の不足はiv) で補える

項 目	一般的な必要単位
i) 診療実績の証明	最小5単位、最大10単位
ii) 共通講習	最小3単位、最大10単位 (このうち3単位は必修講習)
iii) 領域講習	最小20単位
iv) 学術業績・診療以外の活動実績	0～10単位
i)～iv)の合計	50単位

- ✓ iii)は希少がんイーラーニングで15単位まで得られる
- ✓ さらにiii)講習の不足はiv)論文・発表・参加で補える
- ✓ ただしiv)に含まれる学会参加は何度参加しても6単位が上限

書類関係の原則

- ✓ 全ての書類がHPからダウンロード可能
- ✓ 責任者名含め、全てWordで入力可(直筆不要)
- ✓ 捺印不要
- ✓ 受講証などは原本・複製いずれも可
- ✓ 古い書式などでも必要な内容が含まれていれば可
- ✓ 欄の数が足りない場合は追加して使用

提出・アップロード必要書類

項目	一般的な必要単位
i) 診療実績の証明	最小5単位、最大10単位
ii) 共通講習	最小3単位、最大10単位 (このうち3単位は必修講習)
iii) 領域講習	最小20単位
iv) 学術業績・診療以外の活動実績	0～10単位
i)～iv)の合計	50単位

リストのみ

リストと受講証

リストと受講証

証明書類のみ

他に勤務実態などの記載、単位集計表、振込の控えが必要

i) 診療実績の証明

「A 診断症例一覧の提示による診療実績」で申請する場合

単位集計表				
※ 黄色の枠内のみ数値を記入してください。①-④、総合計は自動計算されます。 ※ 3回以上の連続更新の場合はAの診療実績の代わりに、Bの生涯学習で代替可能。 ※ ③が20単位以下の場合は、④を増やすことで充当可能。				
項目		直近5年間の 取得単位		更新申請に 必要な単位
i) 診療実績の証明	A. 診断症例一覧の提示による診療実績	10	単位	B.を用いる場合は不要。Bを用いない場合は5単位以上必須、最大10単位
	B. 3回以上の更新措置利用 (生涯学習受講実績アップロード必須)		単位	3回連続更新の診療実績免除を用いる場合は受講証をアップロードし、10単位と記入
	A or B	① 必須未達	単位	5単位以上必須、最大10単位
ii) 共通講習	a. 必修講習	医療安全	単位	各1単位以上必須
		感染対策	単位	
		医療倫理	単位	
	b. その他		単位	

i) 診療実績の証明

最小5、最大10単位

剖検・CPC 1例＝1単位

迅速 10例＝1単位

組織 100例＝1単位

- ・ 診断症例一覧表(リスト)に記載して提出
- ・ **剖検報告書・迅速報告書などの添付は不要**
- ・ 提出できるのは医療機関での症例のみ
- ・ どんなに記載しても**最大10単位まで**
- ・ **2019年11月～2024年10月の症例**
- ・ 1単位以下の分割(組織0.5＋迅速0.5等)は不可
- ・ 1種類のみでも可(剖検10単位等)
- ・ **記載していないリストはアップロード・提出不要**
- ・ 部署責任者が申請者の場合、本人の名前を記載

診断症例一覧表 (剖検・CPC) (1例で1単位)					
※患者の情報管理に留意すること。医療機関が複数箇所の場合は、主たる施設部署の責任者 い。責任者が本人の場合は本人が署名してください。					
責任者名			病理 花子		
No.	年(西暦)/月/日	剖検番号	主病診断名	施設名	主執刀/副執刀/ 指導者
1	2017/05/08	■■■■	顕微鏡的多発血管炎	附属病院	主執刀/副執刀/ (指導者)
2	2017/05/09	■■■■	多重癌(食道癌、S状結腸癌、直腸癌)	附属病院	主執刀/副執刀/ (指導者)
3	2017/07/05	■■■■	総肺静脈還流異常症、大動脈瘤、 動脈管開存症、心房中隔欠損症	附属病院	主執刀/副執刀/ (指導者)
4	2017/07/07	■■■■	感染性心内膜炎	附属病院	主執刀/副執刀/ (指導者)
5	2017/09/29	■■■■	脾癌	附属病院	主執刀/副執刀/ (指導者)
6	2017/11/02	■■■■	多重癌(食道癌、肺癌、前立腺癌)	附属病院	主執刀/副執刀/ (指導者)
7	2018/01/10	■■■■	内臓錯位症(複合心奇形、無脾症、 両側三分葉肺、対称肝、総腸間膜症)	附属病院	主執刀/副執刀/ (指導者)
8	2018/03/30	■■■■	大葉性肺炎	附属病院	主執刀/副執刀/ (指導者)
9	2018/05/21	■■■■	前立腺癌、間質性肺炎	附属病院	主執刀/副執刀/ (指導者)
10	2019/03/06	■■■■	多重がん(胸膜悪性中皮腫、前立腺癌)	附属病院	主執刀/副執刀/ (指導者)

i) 診療実績の証明

「B 3回以上の更新措置利用」で申請する場合

単位集計表				
※ 黄色の枠内のみ数値を記入してください。①-④、総合計は自動計算されます。				
※ 3回以上の連続更新の場合はAの診療実績の代わりに、Bの生涯学習で代替可能。				
※ ③が20単位以下の場合は、④を増やすことで充当可能。				
項目	直近5年間の 取得単位		更新申請に 必要な単位	
i) 診療実績の証明	A. 診断症例一覧の提示による診療実績		単位	B.を用いる場合は不要。Bを用いない場合は5単位以上必須、最大10単位
	B. 3回以上の更新措置利用 (生涯学習受講実績アップロード必須)	10	単位	3回連続更新の診療実績免除を用いる場合は受講証をアップロードし、10単位と記入
	A or B	③	単位	5単位以上必須、最大10単位
	医療安全		単位	

病理画像問題の受講証で診療実績の証明に代替可能

3回以上連続して更新した人が、4回目の更新よりこの措置が利用可能

2004年以前に専門医を取得し、途中保留になっていない人

B 3回以上の更新措置利用

病理画像問題の受講に代替可能

生涯学習受講実績受講証明書 1枚提出(10単位分)



生涯学習受講実績 受講証明書

受講コース名： 更新者用病理画像問題 A

受講日： 2022年 09月 28日

受講者氏名： 宮本 いづみ

病理専門医番号： 0

貴殿はバーチャルスライドを用いた病理画像問題を受講したことを証明します。

※日本専門医機構の専門医更新の際に、3回以上連続更新の先生方は、本コースの受講で「i) 診療実績の証明」を代用することができます。更新申請の際には、この受講証明書をご提出ください。なお、何種類かのコースを受講された場合でも、提出は1種類で構いません。

一般社団法人日本病理学会

理事長 小田 義直

病理専門医制度運営委員長 森井 英



受講するには

生涯教育

ダッシュボード / コース / 生涯教育

生涯教育委員会では、病理医が生涯にわたって自らの知識を広げ、技能を磨き、常に研鑽のコースは病理専門医の診断能力の担保を目的に日本専門医機構病理専門医の更新条件に利用資格は日本病理学会会員です。更新者以外も利用可能です。生涯教育コンテンツとし

■病理専門医を3回以上連続更新している方は更新要件の「i) 診療実績の証明」をAコース(80%)に達した時に受講証明書がダウンロード可能になります。合格するまで何度でも受

※スライドビューアご使用の際、推奨ブラウザはGoogle Chromeです。Chromeであればスクロールしたり、トラックパッドやタッチスクリーンでピンチイン・アウトすること

コースを検索する

Go

生涯教育2012-A問題

生涯教育2012-B問題

更新者用病理画像問題 A

更新者用病理画像問題B

病事情報ネットワークセンターの生涯学習ページ
(病理学会 HP 右側バナー よりアクセス)

4 コースのうち、1 コースの受講で可

合格点(60%)に達した時に受講証明書がダウンロード
できる。何度でも受講可能。

i) 診療実績の証明(剖検報告書・迅速報告書などの添付は不要)

診断症例一覧 書類11～19

提出する単位分

診断症例一覧表 (剖検)・CPC (1例で1単位)					
※患者の情報管理に留意すること。医療機関が複数箇所の場合は、主たる施設部署の責任者が署名してください。責任者が本人の場合は本人が署名してください。					
責任者名 病理 花子					
No.	年(西暦)月/日	剖検番号	主病診断名	施設名	主執刀/副執刀/指導者
1	2017/05/08	■■■■	顕微鏡的多発血管炎	■■■■病院	主執刀/副執刀/指導者
2	2017/05/09	■■■■	多重癌(食道癌、S状結腸癌、直腸癌)	■■■■病院	主執刀/副執刀/指導者
3	2017/07/05	■■■■	総肺静脈還流異常症、大動脈瘤症、動脈管開存症、心房中隔欠損症	■■■■病院	主執刀/副執刀/指導者
4	2017/07/07	■■■■	感染性心内膜炎	■■■■病院	主執刀/副執刀/指導者
5	2017/09/29	■■■■	肺癌	■■■■病院	主執刀/副執刀/指導者
6	2017/11/02	■■■■	多重癌(食道癌、肺癌、前立腺癌)	■■■■病院	主執刀/副執刀/指導者
7	2018/01/10	■■■■	内臓錯位症(複合心奇形、無脾症、両側三分葉肺、対称肝、総腸間膜症)	■■■■病院	主執刀/副執刀/指導者
8	2018/03/30	■■■■	大葉性肺炎	■■■■病院	主執刀/副執刀/指導者
9	2018/05/21	■■■■	前立腺癌、間質性肺炎	■■■■病院	主執刀/副執刀/指導者
10	2019/03/06	■■■■	多重がん(胸膜悪性中皮腫、前立腺癌)	■■■■病院	主執刀/副執刀/指導者

または

生涯学習受講実績受講証明書

(3回以上の更新措置利用者)

生涯学習受講実績 受講証明書 受講コース名： 生涯教育2017年3月問題B 受講日： 2020年 10月 7日 受講者氏名： ■■■■ 病理専門医番号： ■■■■ 貴殿はバーチャルスライドを用いた病理画像問題を学習(受講)したことを証明します。 ※日本専門医機構の専門医更新の際に、3回以上連続更新の先生方は、本コースの受講で「i) 診療実績の証明」を代用することができます。更新申請の際には、この受講証明書をご提出ください。なお、何種類かのコースを受講された場合でも、提出は1種類で構いません。 一般社団法人日本病理学会 理事長 北川 昌伸 病理専門医制度運営委員長 森井 英一
--

ii) 共通講習

最小3単位、最大10単位（このうち3単位は必修講習）

共通講習の必修講習について

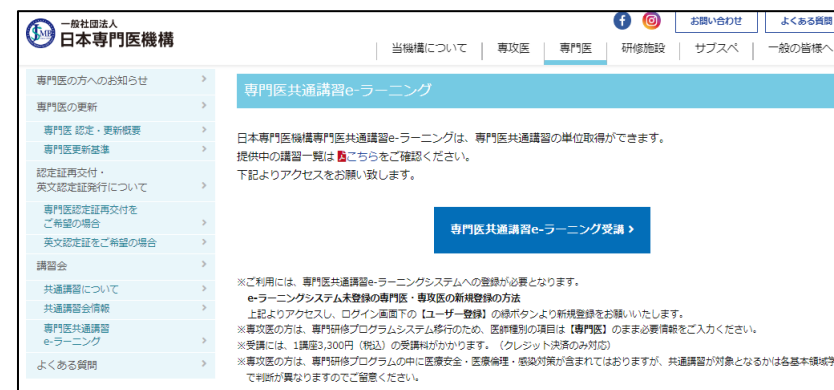
① 「医療安全」「感染対策」「医療倫理」の受講証 各1単位以上

「医療倫理」は「研究倫理」でも可

② 未受講者は日本専門医機構のイーラーニング
で必修3科目を受講可能(有料)

詳細:日本専門医機構HPで確認

<https://jmsb.or.jp/senmoni/#an11>



共通講習全体について

- ① 専門医機構が認定した講習会であること
- ② 受講証には専門医機構が認定したことを示す講習コードが印字されていること。
印字されていない場合、日本専門医機構認定の講習会か否か、日本専門医機構へ各自、問い合わせること。
- ③ 郵送の場合、受講証は原本・コピーいずれも可

【臨床細胞学会において病理専門医更新に認められている共通講習】

	現地	WEB
2018春	○	開催無し
2018秋	○	開催無し
2019春	○	開催無し
2019秋	○	開催無し
2020春	開催無し	○
2020秋	○	×認められていない
2021春	○	×認められていない
2021秋	○	×認められていない
2022春	○	第1期○ 第2期×
2022秋以降	○	○

ii) 共通講習 提出書類

共通講習受講一覧(リスト)

共通講習受講一覧

(様式5-1)

No.	受講日：(西暦) / 月 / 日	講習会等名称	単位数
1	2024/04/20	専門医共通講習「医療安全」第110回日本病理学会総会	1
2	2024/04/22	専門医共通講習「医療倫理」第110回日本病理学会総会	1
3	2024/04/23	専門医共通講習「感染対策」第110回日本病理学会総会	1
4			
5			
6			
7			

&

専門医共通講習受講証

医療倫理

本人控

専門医番号: 1581

氏名: 池田 栄二

所属名: 山口大学

開催日: 平成 29 年 4 月 29 日 (土)

時間: 16:00 - 17:00

会場: 京王プラザホテル (A+B+C 会場)

取得単位: 1 単位

貴殿は上記講習会を受講したことを証明します。

一般社団法人日本病理学会理事 正久

同 病理専門医制度運営委員会 目録

第 106 回日本病理学会総会 志

専門医共通講習受講証

医療安全

本人控

専門医番号: 1581

氏名: 池田 栄二

所属名: 山口大学

開催日: 平成 29 年 4 月 29 日 (土)

時間: 18:00 - 19:00

会場: 京王プラザホテル (A+B+C 会場)

取得単位: 1 単位

貴殿は上記講習会を受講したことを証明します。

一般社団法人日本病理学会理事 正久

同 病理専門医制度運営委員会 目録

第 106 回日本病理学会総会 志

専門医共通講習 受講証明書

No. 20535

【受講者】

専門医番号: 1581 ※提出時にご自身で記載ください。

氏名: 池田 栄二 殿

【受講講習会】

e-learning 名: 感染対策

共通講習コード: 24xx-210506-1-213-99

受講完了日(西暦)月日: 2021年5月6日

単位数: 1

貴殿は上記「感染対策講習会」を受講したことを証明します。

一般社団法人日本病理学会理事長 北川 昌博

同 病理専門医制度運営委員長 森井 英一

第 110 回日本病理学会総会会長 北川 昌博

この受講票は、資格更新時まで大切に保管してください。
再発行は致しません。

専門医共通講習 受講証明書

No. 20612

【受講者】

専門医番号: 1581 ※提出時にご自身で記載ください。

氏名: 池田 栄二 殿

【受講講習会】

e-learning 名: 感染対策

共通講習コード: 24xx-210506-1-213-99

受講完了日(西暦)月日: 2021年5月6日

単位数: 1

貴殿は上記「感染対策講習会」を受講したことを証明します。

一般社団法人日本病理学会理事長 北川 昌博

同 病理専門医制度運営委員長 森井 英一

第 110 回日本病理学会総会会長 北川 昌博

この受講票は、資格更新時まで大切に保管してください。
再発行は致しません。

受講証
原本・複写いずれでも可

iii) 領域講習 20単位以上必須

- ・ 2019年11月～2024年10月に取得した単位のみ
- ・ 病理学会総会や支部会内の指定のセッション等で取得可能。
- ・ 対象となる講習の詳細は「書類30,31」を参照。
- ・ 希少がんイーラーニングで15単位まで取得可能
- ・ 受講証は原本・コピーいずれも可。
- ・ 受講証には必ず申請者名を記載
- ・ 希少がんイーラーニングは受講証不要(自動転送される)
- ・ 「受講一覧」の記載欄が足りない場合は欄を増やして使用
- ・ 1回の学術集会で取得できる単位の上限
 - 病理学会(春)12単位まで
 - 病理学会(秋)8単位まで
 - 臨床細胞学会6単位まで

希少がん事業のイーラーニングでの領域講習単位取得

- ・ 希少がん事業のイーラーニングで**15単位まで取得可能**。
- ・ 1コース10問、8割以上の正解で1単位。

・ アクセス方法

病理学会トップページ右側バナー

「希少がん診断のための病理育成事業」



希少がんページ 右側 好きな領域のイーラーニングを選択し受講する



骨軟部腫瘍01

骨軟部腫瘍02

骨軟部腫瘍03

骨軟部腫瘍04

骨軟部腫瘍05

骨軟部腫瘍06

骨軟部腫瘍07

→

問題 1
未解答
最大評点 1.00
▼ 問題にフラグを付ける

バーチャルスライド

Whole-Slide Imaging

60歳代、女性。1cm大の右耳後部皮膚腫瘍。最も考えられる診断名は何か。

1つ選択してください:

☒ a. Neurofibroma

☐ b. Dermatofibrosarcoma protuberans

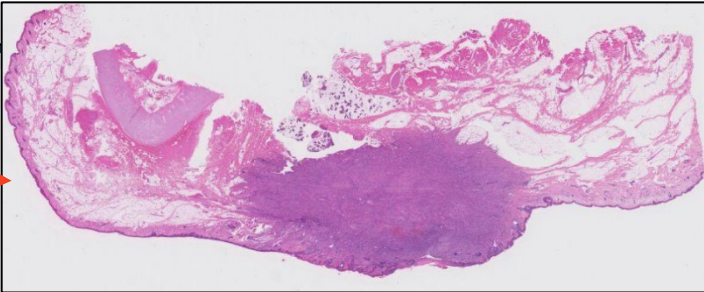
☐ c. Leiomyosarcoma

☐ d. Cellular schwannoma

☐ e. Cellular dermatofibroma

[私の選択をクリアする](#)

次のページ



10問のうち8問以上の正解で1単位

- ・ 取得した単位は会員システムの「単位」ページに自動で反映。
- ・ 受講証の発行なし、書類のアップロード・添付不要
- ・ 申請する場合は、会員システムで単位該当期間に取得した単位数を確認し、の単位集計表「iii) 領域講習」のBに記載する。

iii) 領域講習	A	25	単位	20 単位以上必須
	B 希少がんイーラーニング	8	単位	
	A + B	③ 33	単位	

iii) 領域講習 提出書類

領域講習受講一覧(リスト)

(様式6-1)

領域講習受講一覧

	受講年(西暦)月/日	講習会等名称	開催学会名	単位数
1	2023/4/13	宿題報告 1	病理 112	1
2	2023/4/13	特別講演 1	病理 112	1
3	2023/4/13	シンポジウム 1	病理 112	2
4	2023/4/14	招聘講演	病理 112	1
5	2023/4/14	特別企画	病理 112	2
6	2023/4/14	宿題報告 2	病理 112	1
7	2023/4/13	シンポジウム 2	病理 112	2
8	2023/4/15	宿題報告 3	病理 112	1
9	2023/4/15	特別講演 2	病理 112	1
10	2023/11/9	病理診断特別講演 1	病理 69	1
11	2023/11/10	シンポジウム	病理 69	1
12	2023/11/10	教育講演	病理 69	1
13	2024/6/30	2024 年度第 1 回希少がん病理診断講習会		4
14	2024/8/25	2024 年度 21 回希少がん病理診断講習会		4
15				

&

受講証
原本・複写いずれでも可

領域講習 受講証

系統的病理診断

DS4

アミロイド

病理専門医番号 : 1581

氏名 : 池田 栄二 殿

受講完了日 (西暦)月/日 : 2023/11/10

貴殿は上記講習会を受講したことを証明し、日本専門医機構の専門医更新に必要な単位として上記単位(病理領域講習)を付与します。

一般社団法人日本病理学会理事長
同 病理専門医制度運営委員長
第 110 回日本病理学会総会会長

病理領域別講習 受講証明書

特別シンポジウム1

2単位

SS1-1~4

がんゲノム医療と病理

2019 年 13 : 00

東京国際フォーラム

病理専門医番号 : 1581

氏名 : 池田 栄二

貴殿は上記講習会を受講したことを証明し、日本専門医機構の専門医更新に必要な単位として上記単位(病理領域講習)を付与します。

一般社団法人日本病理学会理事長 北川 昌伸
同 病理専門医制度運営委員長 森井 英一
第108回 日本病理学会総会会長 坂元 亨

この受講証は更新の申請時に必要です。紛失された場合、再発行はできません。資格更新時まで大切に保管して下さい。

病理領域別講習 受講証明書

特別シンポジウム2

2単位

SS2-1~5

病理IT化、情報化とAI研究

2019 年 5 月 10 日 (金)
8 : 30 ~ 10 : 30

東京国際フォーラム 第1会場ホールC

病理専門医番号 : 1581

氏名 : 池田 栄二

貴殿は上記講習会を受講したことを証明し、日本専門医機構の専門医更新に必要な単位として上記単位(病理領域講習)を付与します。

一般社団法人日本病理学会理事長 北川 昌伸
同 病理専門医制度運営委員長 森井 英一
第108回 日本病理学会総会会長 坂元 亨

この受講証は更新の申請時に必要です。紛失された場合、再発行はできません。資格更新時まで大切に保管して下さい。

※開催学会名:病理学会総会の場合は 例「病理112」「病理67」、臨床細胞学会の場合は「細胞64」のように開催学会の回数を記載。WEB 受講の場合も同様。学会以外の講習会は記載不要

iv) 学術業績・診療以外の活動実績

- ・ 2019年11月～2024年10月に取得した単位のみ
- ・ 必要単位は0-10単位、i)～iii)で単位を満たしている場合は**提出不要**

学術集会や支部会の参加証
どれだけ参加しても **6 単位まで!!**
(病理学会総会 1 枚 3 単位)

108回 日本病理学会総会
The 108th Annual Meeting of the Japanese Society of Pathology

所属 山口大学大学院医学部研究科
病理形態学講座

氏名 池田 果二

令和元年5月9日(木)・10日(金)・11日(土)
＜東京国際フォーラム＞

参加証 No. 000423

所属 山口大学大学院医学部研究科
病理形態学講座

氏名 池田 果二

貴殿は本総会に出席し
研究討議に参加したことを証明する
令和元年5月9日(木)・10日(金)・11日(土)
第108回日本病理学会総会
会長 坂元 亨 副会長 金井 弥栄

領収証 No. 000423

☒ 一般 金 13,000円也
☐ 大学院生・前期研修医 金 10,000円也
☐ 外国人大学院生(留学生) 金 5,000円也

第110回 日本病理学会総会
The 110th Annual Meeting of the Japanese Society of Pathology

所属 山口大学大学院医学部研究科
病理形態学講座

氏名 池田 果二

No. 01700

参加証 No. 01700

貴殿は第110回日本病理学会総会に
参加されたことを証明いたします

現地会場・ライブ配信:2021年4月22日(木)～24日(土)
オンデマンド配信:2021年4月22日(木)～6月28日(月)

病理専門医更新単位:3単位
1)学術業績・診療以外の活動実績の
学術集会参加単位(2単位)
2)学術集会参加単位(1単位)は5年間
で最大3単位まで

第110回日本病理学会総会
会長 北川 昌伸 副会長 大橋 健七

領収証 No. 01700

☒ 一般参加費(会 員) 15,000円(内税別)
☐ 一般参加費(非会員) 19,000円(内税別)
☐ 聴講費(聴講者・修士課程大学院生・メディカルスタッフ・
外国人大学院生(留学生)・海外在住日本人)
5,000円(内税別)

その他

- ・ 論文(pdfを提出)
- ・ 学会発表・座長

(学会名・抄録の部分のコピーを提出)

参加証

原本・複写いずれでも可

iii) 領域講習(20単位以上必須)不足分をiv)学術業績・診療以外の活動実績で補填

- ・ 領域講習が不足している場合、希少がん事業のイーラーニングが得策
- ・ それでも足りない場合、「iv)学術業績」から単位を振り替えられる。

【例】「iii)領域講習」の不足を「iv)学術業績・診療以外の活動実績」で充当する場合

- ・ 「iii)領域講習」の単位の欄には取得単位のみ(受講証と同じ単位数)を記載する
- ・ 「iv) 学術業績・診療以外の活動実績」の単位の欄には「iii)領域講習」へ充当する単位も含めた単位数を記載する。その場合、10単位を超えてもよい。

ただし、病理学会総会、支部会、他学会への参加単位はどれだけ参加しても6単位まで！！(振り替えする分も含む)

領域講習 2 単位不足	iii) 領域講習	A	3 単位	
		B 希少がんイーラーニング	15 単位	
		A + B	③ 18 単位	20 単位以上必須
学術業績・診療以外の活動実績 2 単位充当	iv) 学術業績・診療 以外の活動実績	a. 学術集会参加単位	6 単位	6 単位まで
		b. 発表、論文、座長など	6 単位	
		a + b	④ 12 単位	0~10 単位

振り替える場合は単位表下のチェック欄に✓

☒ 「iii)領域講習」または「iv)学術業績・診療以外の活動実績」の余剰分の単位を不足している領域へ充当。
 ※「iii)領域講習」と「iv)学術業績・診療以外の活動実績」は単位の互換が可能。例えば、「iii)領域講習」の不足を「iv)学術業績・診療以外の活動実績」で充当する場合、「iii)領域講習」の単位の欄には取得単位のみ(受講証と同じ単位数)を記載し、iv) 学術業績・診療以外の活動実績の単位の欄には「iii)領域講習」へ充当する単位も含めた単位数を記載すること。その場合は 10 単位を超えてもよい。
 ※ただし、学術集会の参加単位は全体で 6 単位まで。

その他の書類

「病理専門医認定更新申請書」

「①勤務実態の自己申告」

勤務実態自己申告書:詳細

病理専門医認定更新申請書

一般社団法人 日本病理医機構 御中

フリガナ 日本病理学会会員番号: 999999

氏名 花子 病理

生年月日 (西暦) 1965 年 9 月 1 日

勤務先名 聖堂前病院

勤務先住所 〒113-0034 TEL: 03-6206-9070
東京都文京区湯島 1-2-5

自宅住所 〒123-4567 TEL: 99-9999-9999
東京都文京区本郷 9-9-9

E-mail jsp-admin@umin.ac.jp

医籍登録番号 第 999999 号

医籍登録年月日 (西暦) 1990 年 5 月 30 日

死体解剖資格認定証明書登録番号 第 9999 号

死体解剖資格認定登録年月日 1995 年 3 月 29 日

専門医登録番号 第 9999 号 初回認定日 1996 年 7 月 29 日

現在の認定期間 (西暦) 2017 年 4 月 1 日 ~ 2022 年 3 月 31 日

学位 博士(医学)
例: 博士(医学)

①勤務実態の自己申告 (必須)

【勤務実態】

勤務形態については、直近 1 年間の実態を記載ください。
1 週間当たりの診断時間 (※勤務時間) あるいは 診断件数でご記入ください

A 勤務形態 (主に従事する医療機関がある方は必須: a. b. いずれかを選択)

a. 医療機関の病理部門 常勤医師として勤務している (はい、いいえ)

勤務先 () () 時間/週 or () 件/週

b. 医療機関の病理部門 非常勤医師として勤務している (複数ある場合はすべて記載)

(8) 時間/週 or () 件/週 勤務先 (公立本郷病院 病理診断科)

() 時間/週 or () 件/週 勤務先 ()

() 時間/週 or () 件/週 勤務先 ()

B その他 (医療機関以外で勤務されている実態がある方は記載してください)

() 時間/週 or () 件/週 勤務先 ()

【前回認定後から今回申請時までの職歴等】

期 間 (西暦)	勤 務 先	職 名
自 <u>2016</u> 年 <u>4</u> 月 <u>1</u> 日 至 <u>2021</u> 年 <u>10</u> 月 <u>30</u> 日	<u>湯島大学 病理学講座</u>	<u>講師</u>
自 <u>2016</u> 年 <u>4</u> 月 <u>1</u> 日 至 <u>2021</u> 年 <u>10</u> 月 <u>30</u> 日	<u>公立本郷病院 病理診断科</u>	<u>非常勤医師</u>
自 年 月 日 至 年 月 日		
自 年 月 日 至 年 月 日		
自 年 月 日 至 年 月 日		

※前回認定時と変更のない場合もご記入ください。
※大学院、留学の場合は勤務先欄にその旨を記載してください。
※教育施設に非常勤で所属の場合は、主たる職歴に並列して記載してください。
※診療実績に非常勤で勤務する医療機関の症例を使用する場合には、職歴に並列して記載してください。

勤務実態自己申告書: 詳細

以下は専門医の活動の実態を把握するための参考とします。祝日や学会出張等がない平均的な 1 週態を想定して記載してください。

■業務活動 小計 (12.5) 時間/週

病理組織診断	(<u>10</u>) 時間/週 or () 件/週
剖検	(<u>0.5</u>) 時間/週 or () 件/週
迅速診断	(<u>1</u>) 時間/週 or () 件/週
切り出し	() 時間/週 or () 件/週
診断に関わる書類作成	(<u>1</u>) 時間/週 or () 件/週
その他:	() 時間/週 or () 件/週

■業務管理と教育活動 小計 (4.5) 時間/週

カンファレンス (発表)	() 時間/週
カンファレンス (参加のみ)	() 時間/週
診療に関わる委員会活動	() 時間/週
学生・研修医・専攻医指導	(<u>4</u>) 時間/週
メディカルスタッフ指導	(<u>0.5</u>) 時間/週

■その他の臨床的活動 小計 (0.5) 時間/週

臨床医の学会活動の支援	(<u>0.5</u>) 時間/週
臨床に関わる書類作成	() 時間/週
その他:	() 時間/週

■専門医として相応しい病院外での医療活動 小計 () 時間/週

内容記載→	() 時間/週
内容記載→	() 時間/週

* 電子申請の場合はフォームで記載(量はだいぶ少ない)

勤務実態の記載に関する注意事項

「①勤務実態の自己申告(必須)」

- 主に従事する医療機関(常勤または非常勤)がある場合、

Aのa. または b. の記載必須

【例】大学の講座に所属し
医療機関 非常勤 のパターン

- 検査センター等(非医療機関)勤務は
Bに記載

(様式 1-2)

①勤務実態の自己申告(必須) 書類 8

【勤務実態】
勤務形態については、直近 1 年間の実態を記載ください。
1週間当たりの診断開与時間(※勤務時間 あるいは 診断件数でご記入ください)

A 勤務形態(主に従事する医療機関がある方は必須: a. b. いずれかを選択)

a. 医療機関の病理部門 常勤医師として勤務している (はい、いいえ)
勤務先 () () 時間/週 or () 件/週

b. 医療機関の病理部門 非常勤医師として勤務している(複数ある場合はすべて記載)
(8) 時間/週 or () 件/週 勤務先 (公立本郷病院 病理診断科)
() 時間/週 or () 件/週 勤務先 ()
() 時間/週 or () 件/週 勤務先 ()

B その他(医療機関以外で勤務されている実態がある方は記載してください)
() 時間/週 or () 件/週 勤務先 ()

【前回認定後から今回申請時までの職歴等】

期 間 (西暦)	勤 務 先	職 名
自 2016 年 4 月 1 日 至 2021 年 10 月 30 日	湯島大学 病理学講座	講師
自 2016 年 4 月 1 日 至 2021 年 10 月 30 日	公立本郷病院 病理診断科	非常勤医師
自 年 月 日 至 年 月 日		
自 年 月 日 至 年 月 日		
自 年 月 日 至 年 月 日		

※前回認定時と変更のない場合もご記入ください。

その他の書類

単位集計表

			書類 9
			(様式 1 - 3)
単位集計表			
項目		直近 5 年間の 取得単位	更新申請に 必要な単位
i) 診療実績の証明	A 診断症例一覧の提示による 診療実績	単位	5 単位以上必須 最大 10 単位
	B 3 回以上の更新措置利用 (生涯学習受講実績提出必須)	10 単位	10 単位分に相当
	A or B	① 10 単位	5 単位以上必須 最大 10 単位
ii) 共通講習	a. 必修講習	医療安全: 1 単位	各 1 単位以上必須
		感染対策: 1 単位	
		医療倫理: 1 単位	
	b. その他	単位	(0~7 単位)
	a + b	② 3 単位	3 単位以上必須 最大 10 単位
iii) 領域講習	A	25 単位	20 単位以上必須
	B 希少がんイーラーニング	8 単位	
	A + B	③ 33 単位	
iv) 学術業績・診療 以外の活動実績	a. 学術集会参加単位	6 単位	6 単位まで
	b. 発表、論文、座長など	2 単位	
	a + b	④ 8 単位	0~10 単位
総合計 (①+②+③+④) *②には必修講習各 1 単位以上が必須です		54 単位	50 単位以上

更新手数料20000円の

振込受領証、明細票のコピー

- ・ネットバンキングの場合は振込完了の内容が分かる
ページをアップロードまたは添付
- ・受領証を紛失した場合は、振込日、名義、金額を
記載したメモをアップロードまたは添付

- ・電子申請の場合はexcel
- ・合計などは自動計算
- ・不足があるとアラートが表示

2015年度以降に専門研修を開始した初回更新者

専門医資格取得後に自らが関与した剖検症例10例(副執刀・指導を含む)のリストと剖検報告書の提出が必要

対象者の病理専門医番号

3445	3492	3500	3508	3516	3524	3532	3540
3485	3493	3501	3509	3517	3525	3533	3541
3486	3494	3502	3510	3518	3526	3534	3542
3487	3495	3503	3511	3519	3527	3535	
3488	3496	3504	3512	3520	3528	3536	
3489	3497	3505	3513	3521	3529	3537	
3490	3498	3506	3514	3522	3530	3538	
3491	3499	3507	3515	3523	3531	3539	

【提出物】

- ・剖検リスト
- ・剖検報告書の写し(患者名等はマジックなどで必ず消して下さい)
 - ※剖検リストはHPよりダウンロード
 - ※剖検報告書への本人、指導者の直筆署名は不要
 - ※更新の診療実績と重複可、単位該当期間に注意

診療実績(剖検 or CPC) 診断症例一覧のみ提出、剖検報告書等の書類添付不要

単位該当期間:2019年11月～2024年10月の症例

初回更新の10例(剖検)剖検リストと剖検報告書

対象期間:専門医取得後～2024年10月の症例 (2019年合格者は2019年7月31日～)

全体的な注意事項

- ・ 審査するのは人間です
- ・ 郵送などで受講証が多い場合は共通講習、領域講習のカテゴリーごとにクリアファイル等にまとめていれてください。
- ・ 台紙に貼らなくても構いません。
- ・ 単位に余裕がある場合、安全のため50単位ぴったりではなく、55単位程度で提出してください。

問題となる例

- ・ 大量の参加単位で提出
 - 参加単位はどんなに参加しても6単位までしか使えない
- ・ 「iv) 学術業績・診療以外の活動実績」で書類を添付してない。
 - 学会発表:学会名のタイトル部分と抄録のコピー
 - 論文:内容が分かる全体のpdf

今後の手続きの流れについて

(今回から専門医機構の専門医システムへの登録が必須となります)

① 更新申請	日本病理学会へ更新書類提出(10月末日締切) ※提出書類は「ガイドンス2」参照
② 1次審査	日本病理学会にて更新1次審査(11月)
③ 審査状況のご案内	1次審査終了後、更新申請者全員へ日本専門医機構から審査状況に関するメールが届く (12月末～年明け頃) ※病理学会からも郵送で通知予定。指導医申請に関するご案内も同封します。
④ 2次審査	日本専門医機構にて更新2次審査(1月頃)
⑤ 更新結果+システム登録のご案内	日本専門医機構の理事会で審査結果が承認されると、1月4週目に更新結果と「機構システム」登録に関する案内が専門医機構よりメールで届く
⑥ 更新料支払い ※2次審査合格者は支払必須	2次審査終了後、更新が認められた者は「機構システム」上で 機構専門医更新料 11,000円を期限までに支払う
⑦ 更新認定	日本専門医機構にて更新認定(1月～2月頃) 日本専門医機構より認定証が更新申請者へ発送される ※⑥で更新料を支払っていることが条件となる

これまでにいただいた質問のご紹介

Q1:剖検症例は、執刀医でなくても診断書を作成に関与していたら申請してよいのでしょうか？

A1:診療実績の剖検症例については主執刀、副執刀、指導者のいずれかの立場に関わった症例を申請できます。

Q2:論文を多く提出をする予定ですが、全ての頁はコピーできないのでアブストラクトの入ったページだけでよいのでしょうか？

A2:論文が病理の内容であるという事が分かればよい為、タイトルや雑誌名など1ページ目で明らかならば1ページ目のみで可、内容を吟味するような必要がある場合は全ページ。

Q3:所属施設で開催された共通講習は更新に使用できますでしょうか？

A3:日本専門医機構の認定を受けた共通講習は使用できます。受講証に専門医機構の共通講習コードが入っていない場合、認定を対象外となりますが、主催者が入れ忘れている可能性もありますので、講習開催責任者または、日本専門医機構へお問い合わせください。

Q4:必須講習(医療安全、感染対策、医療倫理)が未受講です。更新できないでしょうか。

A4:日本専門医機構が有料で共通講習のイーラーニングを提供しております。そちらで受講すれば単位が取得可能です。詳細は日本専門医機構ホームページにてご確認ください。

<https://jmsb.or.jp/senmoni/#an11>

Q5:受講証明書の枚数が多く、貼り付け台紙に貼ることができません。

A5:台紙に貼らず、共通講習、領域講習ごとにクリアファイル入れていただいても構いません。

Q6:診療実績の証明で「3回以上の更新措置」を利用する場合の更新回数のカウントに、学会認定専門医としての更新回数も含まれますでしょうか。

A6:はい、含まれます。

Q7:書類不備の場合、更新できないでしょうか

A7:11月の審査委員会で書類を確認し、不備や単位不足の場合は聞き合わせを行い、再提出することができます。追加できる単位や参加証は10月末までに取得したものです。追加できない場合は更新できません。

Q8:診断症例一覧を剖検で出す場合、様式2,3はお送りしなくてよろしいのでしょうか？

A8:はい。不要です。記載がある項目(剖検だけなど)でOKです。

Q9:個人クリニックで採取した検体(生検検体)を検査センターに標本作成してもらってクリニックで診断している場合は、診療実績に入れて良いのでしょうか？

A9:サインアウト(診断)がクリニックなど医療機関で行われているのならばOKです。

Q10:1回の臨床細胞学会総会で取得できる病理領域講習単位の上限はいくつまででしょうか？

A10:6単位が上限です。

Q11:2018年の札幌の第107回病理学会総会での専門医共通講習受講証には講習コードの記載がないのですが、これは専門医共通講習の単位としては認められないのでしょうか？

A11:認められます。病理学会総会で開催された共通講習は全て専門医機構の認定を受けております。

Q12:主たる勤務先は附属病院を有しない医療系大学で、病理診断は複数の保健医療機関で実施しています。この場合、診療実績として申告できますか？

A12: 勤務先にかかわらず、診断が(検査センターでなく)医療機関で行われていれば診療実績になります。

Q13:web開催の病理学会総会(春)で取得できる領域講習の単位は1学会当たり12単位が上限だったと思いますが、12単位以上申請しても無効になりますか？

A13:無効です。

Q14:学会の参加証は、認められる単位分(上限6単位)のみ提出したらよいですか？

A14:そのようにお願いします。

Q15:診療実績一覧の責任者名は教室の教授または准教授でよろしいですか？

A15:はい、結構です。

Q16:医療機関が非常勤で、検査センターが常勤の場合、書類7にはどちらを書くのでしょうか？

A16: どちらでもいいですが、医療機関優先の方がいいかと思います。

Q17:大学病院に所属していて、外部施設に出向して行った剖検の場合は、責任者は大学の教授でよろしいでしょうか？

A17:大学病院として受けた剖検であればそれでOKです。

Q18:勤務実態自己申告書は本年3月31日以前(常勤)と、4月1日以降(検査センター)で勤務場所がかわりましたが、両方の実態が必要でしょうか

A18: 3月31日以前(常勤)の分の実績を書いてください。

Q19:webでダウンロードする領域講習の受講証ですが、A5で印刷してもよろしいのでしょうか？印刷の大きさの規定はございますか？

A19:大きさは不問です。A5でも問題ありません。

Q20: 書類8の前回認定後から～の欄の期間で、自～のところは認定期間の初日を記載すればよろしいですか。

A20: 認定期間の初日、4月1日～をご記載ください。(初回専門医認定者は4/1ではない)

Q21: 3回以上更新者が診療実績の代わりに受講する病理画像問題は、どこからアクセスするのですか？

A21: 学会HPTトップ → 「専門医」→「更新書類・更新方法」→「更新者用病理画像問題(会員専用)」からアクセス出来ます。

ログインには会員システムIDとパスワードが必要です。

※ログインに関する参照記事

<https://www.pathology.or.jp/news/single-sign-on.html>



Q22:共通講習を何回か受講しています。受講しただけ単位の加算は可能でしょうか。

A22:上限以内であれば可能です。(例 医療安全3単位、医療倫理3単位、感染対策4単位)

Q23:診療実績症例の医療機関は病理学会の認定施設、登録施設である必要はありますか？

A23:認定施設、登録施設である必要はありません。医療機関であれば診療実績の症例にカウントできます。

Q24:診断症例一覧を旧様式で作成してしまったのですが、必要事項が満たされていれば旧様式のまま提出してもよろしいでしょうか。

A24:はい、問題ございません。

Q25:単位不足の場合、どうなるのでしょうか。

A25:専門医資格喪失となります。希少がんイーラーニングや専門医機構の共通講習で単位追加が可能です。10月末までに出来るだけ単位を取得してください。

Q26:1つの学会取得した参加単位と領域講習単位、両方を利用することはできますか？

A26:はい、できます。

Q27:診療実績一覧の「診断/指導」の項目は丸で囲むのでしょうか？

A27:該当するものを丸で囲んでも、該当するもの以外消しても、どちらでも構いません。

Q28:書類には病理学会専門医番号と専門医機構病理専門医番号のどちらを記載すればいいでしょうか？

A28:専門医機構認定病理専門医の方は専門医機構病理専門医番号(24-×××××)の方を記載してください。

Q29:主として医療機関以外で非常勤していますが、医療機関に週に1回行っています。それを勤務形態に書いた方が良いでしょうか(更新3回以上です)

A29:はい、そのようにお願いいたします。

Q30:剖検はしておらず、CPCのみ担当した症例はカウントできるでしょうか？

A30:はい、診療実績の1例としてカウント可能です。

Q31:診療実績に剖検症例を使う際は、剖検報告書を添付するということですか？

A31:いいえ、診療実績に報告書等の書類添付は不要です。

Q32:診療実績などの記載は手書きでOK？印鑑は不要？

A32:手書きも入力でも構いません。印鑑は不要です。

Q33:学術集会で取得した領域講習の申請上限は？

A33:1回につき病理学会は春12単位、秋8単位まで。臨床細胞学会では以前は6単位との基準があったが、今6単位も取得できるセッションがないため基準なし。

Q34:アルバイト先の病院の症例を使いたい場合の責任者は技師でもOK？

A34:常勤病理医がいない場合は「ご自身」もしくは「アルバイト病理医の中のチーフ的な病理医」の名前を記載する。

Q35:「前回認定後から今回申請時までの職歴等」はいつから書けばいいか。

A35:現在の認定開始日から書けばいい。

Q36:剖検症例のエクセルの書き方。主診断などを記載する際にカラム内にすべての文字をおさめる必要あり？折り返しでOK？

A36:コピーペーストで内容が切れてもある程度わかればOK.日本語でも英語でもOK.

Q37:学会に参加して発表したが参加証をなくしてしまった場合の対応はどうする？

A37:発表の証明は抄録集の表紙と抄録の提出で認定可能で、参加証の提出は不要。

参加の証明は参加証の再発行が必要になる。再発行希望の場合は各運営事務局に要問合せ。